

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	こども発達センター あかいしの森		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日 ～ 令和6年11月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日 ～ 令和6年11月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○訪問先施設評価実施期間	令和6年11月1日 ～ 令和6年11月30日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	8 (回答数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援のご利用者の9割は、あかいしの森の児童発達支援及び放課後等デイサービスをご利用されており、訪問支援に入るクラス担任等がご本人の状況をより具体的に把握できている状況にある。	あかいしの森の児童発達支援及び放課後等デイサービスご利用の際に、あかいしの森と並行利用しているこども園や学校での困り感に関する話が聞かれた際には、保育所等訪問支援の提案を積極的に行っている。	あかいしの森の通所サービスをご利用されている方に限らず、保育所等訪問支援のみのご利用希望の方を今年度から受け入れているので、今後も積極的に受けれていく。
2	上記の項目1の内容から、ご本人の状況を把握している支援者が多く在籍していることから、ニーズに合った支援者を訪問支援に充てる事ができている。	ニーズの聴き取りの段階で、より依頼内容に合った支援者の派遣を心掛けている。	幅広いニーズに合った支援を提供できるように訪問支援員の実人数を増やしていく。
3	クラス担任等の他に、法人内の作業療法士、言語聴覚士等の専門職を派遣する事ができる体制を整えている。	専門職として、姿勢の維持や歩き方、食べ方、言葉の表出等、身体の機能的な部分の支援ができる体制を整えている。	専門的な知見で訪問できる支援員を今後も維持しながら、対応可能な専門職の確保、育成にも力を入れ長期的な視点で体制を整えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員は日中支援の児童発達支援および放課後等デイサービスに配属されている者が多く、訪問頻度は数ヶ月に1回程度に限定されてくる。	日中支援は国で定められている配置基準に順じて提供しているものであり、その中で保育所等訪問支援の訪問支援員を配置できる体制管理が難しい。	訪問支援の経験を多くの支援者に持たせる事で、訪問できる支援者の幅を広げていく。又、1回の訪問支援である程度の支援の道筋を立てる事ができる視点を持てるように、常日頃からご利用児と関りを持ち、ニーズに対して適切な助言ができる支援者を訪問させていく。
2			
3			